

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連	
<input type="checkbox"/> 有	
<input checked="" type="checkbox"/> 無	

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	歴史のまちイメージづくり事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	係	商工振興係	評価票作成者	観光・消費生活担当係長 兼子 公司
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	観光	コード	3 3 4
	項				単位施策(中)	観光PRの推進	コード	3 3 4 1
		産業振興			単位施策(小)	歴史のまちのイメージづくり	コード	3 3 4 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	歴史に興味のある県内外の人々		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	三大古戦場のひとつである「桶狭間古戦場伝説地」の名称とともに歴史のまち「豊明市」のイメージが広く定着している。			
1-5 事務事業の内容	地元の人が地元の観光資源を知らない事があるので、地元の人に愛着を持ってもらうようPRしていく。 史跡桶狭間古戦場伝説地の公園内に大型の観光案内版を設置してPRに努める。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み 観光ガイドマップの作成を企画しているため、参考にするため資料収集、先進地視察を行った。	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握 国、県の施策として魅力ある観光地づくり等の推進をPRしていくことが求められている。	市民ニーズの認識 市民ニーズを把握するには、アンケート調査を実施する必要があるが経費の面から難しいため、古戦場まつり参加者から意見、要望を聞き取る。
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名	前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	「桶狭間古戦場と周辺史跡めぐり」講座の参加者(人)	60(人)	60(人)	・1回定員30名 ・年2回開催 ・講座参加者のうち市外の参加者割合を5割目標とする。(平成20年度から実施予定)

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(人)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	0									
	人件費 c(千円)	0									
	合計コスト d(b+c)(千円)	243									
	単位コスト d/a(千円)	243									
アウトプット実績(活動数値)の補足説明	1人当たり	-	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 人件費(事務) 2名×3日×8h×3,200円=153,600円 (会議・研修) 1名×7日×4h×3,200円=89,600円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	0(人)									
	後期目標値に対する達成度(%)	0(%)									

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A									

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 - B : 事務事業の実手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 - C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 - D : 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)
 - 公共性(公が実施する意味があるか)
 - 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 - 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 - 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 - 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度		観光ニーズの変化を捉えた上で、興味を持てる観光情報を発信できるようにすること。	国、県が推進する地域観光促進事業等の情報を収集し、特色ある地域観光情報が発信できるように取組む。	史跡の案内情報として活用されているが、歴史のまちのイメージに結びつく情報発信の内容にはなっていない。
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		A	継続して事業を進めること。
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			